

"SMILE" OHNO

ホスピコおおの
"ふれあい通信"

スマイル おおの

2005 冬号



私たちの願いは、大野記念病院が地域の皆様から 最も信頼される病院に成長することです。



院長 岡村幹夫

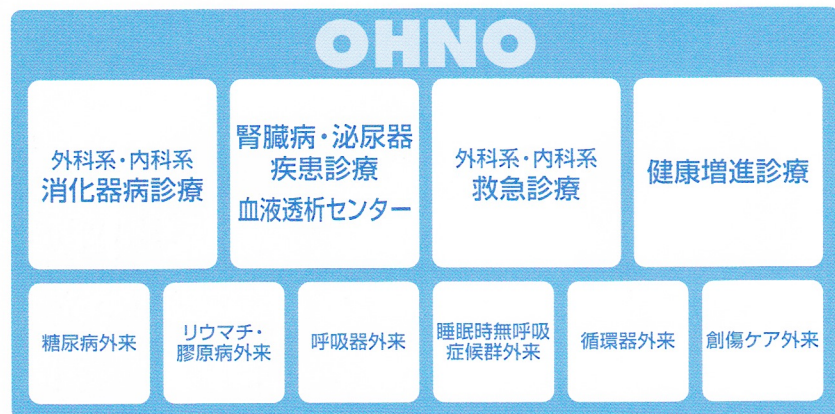
新年あけまして、おめでとうございます。
本年も皆様にとりまして、良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。
私たちは『地域の患者様の健康への願いに誠実に応えるために、安全で質の高い専門医療を提供する病院に成長する』というビジョンを描きました。
私たちはこのビジョンを実現することが最大の使命と考え、このビジョンに基づいて、何が患者様への提供価値なのかを明らかにし、その提供価値を生み出すのが私たちのどんな行動なのか真剣に考えております。
私たちの病院の主な診療科目は従来からの表現では、内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科の5つであり、これらの診療を放射線科、麻酔科、リハビリテーション科が支援しております。
私たちの病院が診療に重点を置くところは、全ての疾患に対するプライマ

リーケアを基盤として、**第一に創立以来80年間取り組んできました外科系・内科系消化器病診療、第二に24時間対応の外科系・内科系救急診療、第三に腎臓病・泌尿器科疾患のすべてのステージに対する一貫した診療体制と大阪有数の施設規模を有する血液透析センター、第四に健康診断で指摘された所見に的確にアドバイスする健康増進診療であります。**これに加えて、乳腺外来、循環器外来、呼吸器外来、糖尿病外来、リウマチ・膠原病外来、睡眠時無呼吸症候群外来があり、この度、褥瘡や糖尿病・透析患者様の足病変の治療を目的とした創傷ケア外来が加わりました。今後も、診療科の垣根を越えた、患者様のニーズに基づいた価値提供のできる組織体制を構築してまいります。

さて、人口の高齢化や少子化、感染症の減少と生活習慣病の増加、医療保険財政の悪化、情報技術システムの革新、医療に対する社会意識の変化など、急激に変化する日本の社会環境にあって、従来型の医療提供体制は急速に変化することを余儀なくされています。そのなかで、医療従事者である私たちの行動は今後どうあるべきか、が問われています。一方で、医療には、病める人々を癒し、支え、慰める、という変えてはいけない原点があります。私たちが朝礼の度に唱和している病院歌をどうかお聞き下さい。

♪ 堀江の空に 聳え立つ
医療の殿堂 愛の窓
白衣の人々 励みつつ
気軽に親切 輝く成果
我らが喜び 大野病院 ♪

私たちは急速に変わる世にあって、医療従事者として変わらぬ使命を果たすべく、そのために何をすべきかという問題発見や課題設定を自律的に行い、心豊かな人格形成をめざし学び続けます。ビジョン達成への道のりを皆様の御指導の下で共に歩みたいと心より願っております。寒さも一段と厳しくなる季節でございます。皆様におかれましてはお体に気をつけてお過ごし下さい。どうか、今年もよろしくお願いいたします。



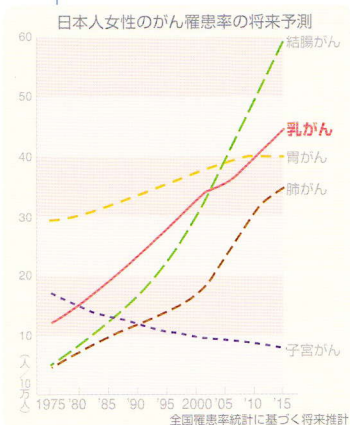
に研究生活が豊かな実績に結びつこうとした時期にもかかわらず、良雄は学究人生から、臨床医としての新たな活動をスタートさせることになったのです。
良雄は大野病院院長としての活動はもちろん、国際外科学会日本支部メンバーとしても精力的な活動を行うことで、医療の最前線と、最新の医療知識・技術の習得の両立に挑んでいくこととなります。院長就任の年には癌研究所を設立、日本に1台しかない深部治療機や大量のX線テレビを導入するなど、当時のがん研究・治療の第一線に躍り出たのです。日本はもとより世界からの訪問客がひきもきらず、貴重な臨床経験が積めるということで、腕に自信のある若手が集まり、外部の著名な外科医も大野病院で次々と画期的な手術を披露するなど、大野病院は良蔵の時代以上の輝きを放ったのでした。しかし、良雄は、高まる評判にも満足しません。他院から紹介された患者、とくに胃がん患者で手遅れになっているケースがあまりに多かったからです。そこで良雄は、全国的に見てもあまり行われていなかった胃の集団検診を民間病院では始めて実施することを決めました。
時に昭和36年(1961)のことでした。

つづく



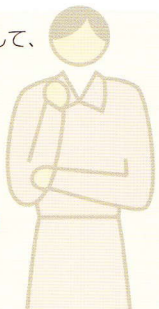
女性スタッフ だけによる 乳腺外来 チームを結成

日頃は、当院乳腺外来の診察には多大のご理解とご協力をいただき誠に有り難うございます。
さて、昨今、皆様ご存じの通り、食生活の西洋化やホルモン環境の変化などにより、
乳がんの患者様が増えており、今後も増加の一途をたどることが予想されております。



乳がんが増加している原因として、

1. 初産年齢の上昇
 2. 閉経の高齢化
 3. 初潮の低年齢化
 4. 少子化
 5. 脂肪摂取量の増加
 6. アルコール摂取量の増加
 7. 環境ホルモン
- などが挙げられていますが、



特に次のような場合には注意が必要とされています。

1. 年齢40才以上
2. 30才以上の未婚女性
3. 初産年齢が30才以上
4. 閉経年齢が55才以上

●乳がんの主たる原因として、女性ホルモンであるエストロゲンが長期にわたって高濃度に維持される事が考えられています。

●初潮から閉経までの期間の延長、出産の機会の減少などライフスタイルの変化が患者の増加に大きく影響していると思われます。

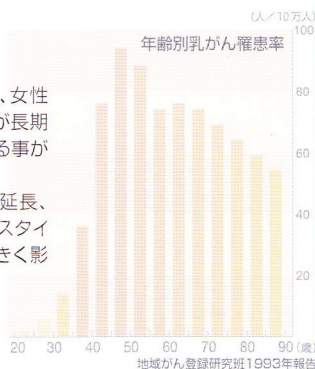
5. 肥満度が20%以上
6. 良性乳腺疾患の既往者
7. 乳癌の家族歴
8. ビルや更年期障害に対するホルモン補充療法
9. シリコンを使用した豊胸手術

●副腎から分泌されるアンドロゲン(男性ホルモン)は脂肪組織内に存在するアロマターゼと呼ばれる酵素によってエストロゲンに変わります。

●閉経まではエストロゲンは卵巣で作られる量が圧倒的に多いため、脂肪組織内で産生されるエストロゲンは無視できる程度ですが、閉経後は肥満者は非肥満者の2〜5倍の血中エストロゲン値を示すようになり、乳癌になりやすくなります。

10. 高脂血症

●コレステロールは性ホルモンの材料となるもので、高脂血症はエストロゲンの材料を供給することになります。



まずは、お気軽に
ご相談ください。



外科 恒川先生



外科 水山先生



放射線科 飯田さん

乳がんの早期発見のためには、まず自己検診をされるのが第一であることは言うまでもありませんが、残念ながら自己検診のみでは全ての早期がんを発見することができないことも事実であります。

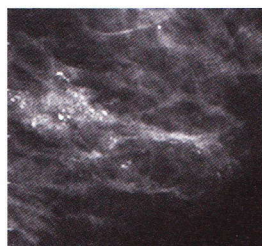
乳腺外来では、視触診、乳房X線撮影、超音波検査の3つの検査を組み合わせることで乳がんの早期発見に努めております。

また、当院におきましては、より多くの患者様がお気軽に乳腺の診察を受けていただけますよう、女性の医師による診察、女性の検査技師による検査をおこなっております。

乳がんの早期発見のためにも、乳房のしこりや痛み、乳房の皮膚の変化、乳頭の分泌物や色形の変化、脇のリンパのしこりなど気になる症状があれば、お気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせは、地域連携室 庄野・落合まで

診療日	午前	火曜	水曜	土曜
	午後	月曜		



乳腺X線撮影(乳癌の線状石灰化像)



乳腺超音波検査(乳頭腺癌の像)

大野記念病院 80年史

開院以来約30年にわたって医療一筋に歩んできた創設者大野良蔵院長が、激務のため昭和28年脳溢血で倒れます。そして大阪の医療界にしっかりとした基盤を築いてきた大野病院は、いよいよ第2期を迎えることとなります。

大野良蔵の時代 1

大野病院は古閑院長代理の時代を経て、昭和30年(1955)大野良蔵が34歳の若さで第2代院長に就任します。

大野良蔵は良蔵の長男として生まれ、大阪大学、海軍軍医学校で学んだ後、戦時中は広島賀茂海軍病院で働いていました。たまたま任務で広島を離れた時に原爆が投下されるなど、幸運によって終戦を迎えます。戦後は大阪大学ですい臓の研究で博士号を取得、昭和25年外科学会の会長中山恒明教授に師事するため、千葉大学に赴きます。ここで良蔵は早期がんの発見と中山教授が確立した食道がんの手術法を習得することとなります。戦前食道がんは死の病であり、手術死亡率は実に95.4%でした。しかし中山教授を中心とした千葉大学医療陣はこのころ、死亡率を25%までにしていました。

こうした環境の中で、良蔵はライフワークとしてがん研究をスタートさせます。とくに34歳のときに発表したすい臓がんの論文は、未踏の分野への挑戦として注目を浴びたものでした。このよう



大野良蔵



胃腸合併ペックによる手術



第2回

「ふれあい腎臓病教室」

～生活習慣病と腎臓病について～



院長のごあいさつ



今回も盛況の会場



稲荷場先生

「生活習慣病」ってどんな病気でしょう？

不適切な生活習慣により進み
生活習慣の改善によって予防ができる病気

- 高脂血症
- 高血圧
- 糖尿病
- 呼吸器疾患
- 肥満
- 高尿酸血症、痛風
- 肝機能障害
- 動脈硬化
- 骨粗鬆症
- 胃、十二指腸潰瘍
- 脳血管障害
- 歯周病
- 肺炎
- 虚血性心疾患
- がんなど

2004/12/11

大野記念病院内科



平成16年12月11日、暮れもおしそまつななか、スイスホテル南海大阪「浪華の間」で「第2回ふれあい腎臓病教室」が開催されました。初めてご参加いただく方にも分かりやすく、また2回目の方にも新しい情報を知っていただくために、どのようなテーマが良いのか、院内で検討を進めた結果、腎臓病の発症や進行に大きな影響を及ぼす「生活習慣病」について勉強会を開くことにしました。その要旨をお伝えします。

「生活習慣病を考える」

稲荷場 ひろみ 内科部長

食べ過ぎ、飲みすぎ、喫煙、運動不足、ストレスなどの好ましくない生活習慣で引き起こされたり、増悪したりする疾病を生活習慣病と呼びます。高脂血症、高血圧、糖尿病が3大生活習慣病とされ、このいずれもが腎臓病と深くかかわっています。これらは目立った症状がないので知らないうちに進行して血管が硬くなり、詰まったりやぶれたりしやすくなる状態、いわゆる動脈硬化を引き起こします。そして心臓、脳、腎臓などの重篤な疾病につながりますのでサイレントキラー（静かな殺人者）とも呼ばれています。高脂血症とは文字通り、血液中の脂肪（コレステロール、中性脂肪）が高くなる疾病です。食べ過ぎ、飲みすぎ、運動不足が原因になります。血清コレステロール220mg/dl以上、中性脂肪150mg/dl以上、あるいは善玉のHDLコレステロール40mg/dl未満のいずれかがある場合に高脂血症とされます。高血圧は生活習慣の中では塩分のとりすぎが主たる原因になります。血圧の治療は高齢者では収縮期血圧140mmHg、拡張期血圧90mmHg未満を、中年者・若年者では収縮期130mmHg、拡張期85mmHg未満を目標にします。糖尿病のなかで特に、2型糖尿病と呼ばれるものの原因に食べすぎ、飲みすぎがあげられます。血糖が高いと動脈硬化が進み、太い血管の障害ですと脳梗塞、心筋梗塞をおこし、細い血管の障害は3大合併症と呼ばれる網膜症、腎症、神経障害を引き起こします。

動脈硬化の危険因子は

1. 高コレステロール血症
2. 年齢（男性45歳以上、女性55歳以上）
3. 高血圧
4. 糖尿病
5. 喫煙習慣
6. 冠動脈疾患の家族歴
7. 低HDLコレステロール血症
8. 肥満です。

この8つのうち、ご自分がいくつ当てはまるかチェックしてください。3つ以上あればかなり危険です。



大野記念病院では、これまでも予防医療の視点から、健康講座などで地域の皆様へ病気の早期発見や日常生活の過ごし方を紹介してきました。「ふれあい教室」はさらに一歩進んで、患者様やご家族の皆様に最先端医療の姿や病気の進行を抑えるための注意点を知っていただくとともに、私たち専門医や医療スタッフと皆様と一緒に病気と闘っていくための勉強会です。

「生活習慣病と腎臓病の関係」

崔 吉永 内科医

腎臓の場合、大きく分けて細動脈と尿細管と糸球体で障害が起きます。たとえば、腎炎などは糸球体の細胞が壊れていって起き、間質性腎炎は尿細管障害が原因でその結果糸球体が悪くなる。今回考えるのは細動脈が高血圧などの生活習慣病が原因で動脈硬化を起こし、その結果、糸球体障害や尿細管障害が起き腎臓全体が悪くなる場合です。これまでのデータから、高血圧の方はそうでない方に比べ腎障害から腎不全に進行しやすいことが知られています。その数値は腎障害発症から年数を経ることに高くなりますが、積極的に降圧治療を行った場合、腎障害の進行が抑えられます。近年糖尿病から腎症を発症して透析に至る方が増えてきたのですが、これも血糖の厳しいコントロールで合併症リスクを下げることで、腎症になった場合でも血圧コントロールで腎障害の進行が抑えられます。このように生活習慣病と動脈硬化・腎障害の進行は深い関係がありますので、当院では症状に応じて、塩分の抑制や運動療法、禁煙・禁酒などの生活改善を通して、動脈硬化リスクを下げることをおすすめしています。

「動脈硬化を予防する食事」

田村 智子 栄養科科長

動脈硬化を予防するためには、**1.**標準体重×25～30kcalの適正エネルギーを3食に分けバランスよく食べる。**2.**コレステロールを多く含む食品を控える。 **3.**脂肪は摂りすぎず、特に動物性の脂肪（飽和脂肪酸）を控える。**4.**ビタミンC・E・カロチンなどの抗酸化食品を十分に摂る。**5.**食物繊維を積極的に摂る。**6.**アルコールや甘いものを控える。**7.**減塩をこころがける。
の7項目に気を付けることです。



少し緊張ぎみの崔先生

生活習慣病と動脈硬化

高血圧
糖尿病
肥満
高脂血症

Syndrome X
死の四重奏
マルチプルリスクファクター症候群
インスリン抵抗性症候群

動脈硬化性疾患
が高率に出現

飲酒はやめなければならないの？

適量（下記）のアルコールであればかまいませんが、それ以上の量を習慣的に飲み続けると血圧は上がります

血圧のコントロールがよくできている場合の1日の適量は



勉強会後の
相談コーナー。

動脈硬化診断のための検査

放生 俊毅 中央検査科科長

動脈硬化診断のためにはMRAやMD-CTなどの放射線検査と眼底検査、血管エコー検査、血圧脈波検査など比較的簡便で体の負担が少ないものがあります。とくに血圧脈波検査は画像診断に基づかず、特定部位の血圧の比、や脈波（拍動）が血管を伝わる速さで、血管の閉さくや狭さく、血管の硬さを調べます。血圧を測るのと同じ感覚で、短時間にしかもわずかな兆候もチェックできる注目の手法です。



血圧脈波検査

●次回は7月に第3回 ふれあい腎臓病教室の開催を予定しています。

生活習慣病



高血圧

今回は3大生活習慣病のうち高血圧についてお話しします。

血液は心臓のポンプ作用によって動脈を通過して全身に送られ、静脈を通過して心臓にもどります。血液が血管の中を通るとき血管の壁に内側からかかる圧力を血圧と呼びます。2004年高血圧治療ガイドライン（日本高血圧学会）によりますと収縮期血圧140mmHg以上、拡張期血圧90mmHg以上のいずれかにあてはまる人が高血圧と診断されます。

高血圧になる原因

日頃の生活習慣や遺伝による体質など色々な要因が複雑にからみあって発症します。



●塩分をとりすぎると塩分を薄めるために体に水をため込み血液量が増えて血圧が上昇します。



●タバコに含まれるニコチンは血管を収縮させ血圧が上昇します。



●肥満で高血圧の人はやせると血圧が下がることが知られています。



●過度の飲酒が毎日続くと血圧が上がります。



●ストレスは血圧を上昇させます。



●「高血圧になりやすい体質」を受け継ぐと、比較的若いころから高血圧になることが多いようです。



●睡眠時無呼吸症が高血圧の原因になることが知られています。

高血圧症の自覚症状は

頭痛やめまい、耳鳴りなどが現れることがあります。ほとんどの場合無症状です。症状がないために軽く考え、放置すると心臓病や脳卒中、腎臓病などの命にかかわる病気を引き起こすことがあります。

高血圧症の治療は

基本は他の生活習慣病と同じく食事療法・運動療法です。それらをきちんと行っても血圧が十分に下がらない場合は薬が処方されます。高血圧治療の目標値は高齢者で140/90mmHg未満、若年や中年の方では130/85mmHg未満、糖尿病、腎疾患を有する方では130/80mmHg未満とされています。

食事療法で気を付けることは

- 塩分を減らす（1日6g以下）。たとえば梅干1個、たくあん3切れを減らしただけでそれぞれ2gずつの減塩ができます。
- 一日に摂取するカロリーを減らす。
- アルコールの一日の適量は
日本酒=1合 ビール=大ビン1本
ワイン=200cc 焼酎=100ccまで
ウイスキー=ダブルで1杯



運動療法は長く続けられるもの（1日1万歩くなど）を最低20分続けて週に4～5日くらい行います。

高血圧の薬には利尿薬、カルシウム拮抗薬、β遮断薬、α遮断薬、ACE阻害薬、A2受容体拮抗薬など様々な種類があります。この中から患者様に適した薬が選ばれて単独、または併用して使用されます。いずれの薬を使う場合でも、2～3ヶ月かけてゆっくりと血圧を下げます。薬物療法が始まっても、食事療法、運動療法を続けることは必要です。

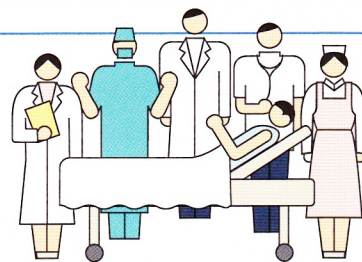
ACTION
OHNO
SPECIAL

"創傷ケア外来"オープンのお知らせ

このたび、当院では、慢性創傷を治療する創傷ケア外来をオープンさせました。慢性創傷とは一般の治療では治りにくい傷のことであり、圧や摩擦・ずれなどによる床ずれ、糖尿病をお持ちの方にみられる糖尿病性足病変、動脈硬化が進んで足の血流が悪化して生じた潰瘍、膠原病による潰瘍などがあります。治りにくい傷をどこで診てもらったらいいかわからない、内科や皮膚科、整形外科や形成外科などにかかっているけど傷が良くならないなど、慢性創傷の悩みを抱える方は年々増加しています。創傷ケア外来はこれらの慢性創傷を専門的に治療する外来です。

演歌歌手の故・村田英雄さんが、両足を切断したことを覚えておられる方も多いと思います。持病の糖尿病の悪化で、動脈硬化が進んで足の血流が悪くなり、足先が壊疽（えそ）を起こしたのが原因です。糖尿病以外にも慢性創傷をきたす原因は様々ですので、創傷ケア外来ではその原因を明らかにした上で、なぜ治っていなかったのかを考え、専門的な治療を行うことで創傷の早期治癒をめざします。

外来治療だけではなく入院治療が必要になった場合は、外科専門医、皮膚科専門医、整形外科専門医、内科専門医、糖尿病専門医、透析専門医が診療科をま



たぐ包括的治療を行います。また、慢性創傷の治療に果たす看護師の役割は大きく、日々の創傷ケアに関して看護師は主体的に活動を行います。管理栄養士は創傷治癒に必須である栄養改善に努めます。このように慢性創傷の治療にあたっては、診療科や職種の垣根を取り去ったチーム医療をもって取り組みます。

今までなかなか治らなかった傷でお悩みの方は、是非、創傷ケア外来までご相談ください。

ホットニュース



もちつき&感動のクリスマスコンサート

今年のクリスマスはミニコンサートをやろうと11月に決定、急遽当院職員だけで結成された大野記念病院合唱団。ゴスペルを歌っている後輩にも相談し、選曲など連日のように打ち合わせをした。曲は決まったが今度は歌ってくれる職員がなかなか決まらない、決まったら練習に人が集まらない!いろいろな問題を乗り越えて、皆少しずつ歌う喜びを感じていった。当日本番を迎えたどの顔にも緊張の2文字が…。そこに何十回何百回と聴いたメロディーが流れ、歌いはじめた顔から今度は笑みがこぼれた。歌声には命が宿り、皆様の心にも響き感動のあまり涙を流された方もおられました。無事終えて考えてみると、「楽しんで行こう!」と言いながら一番緊張していたのは、自分だったかもしれない。

放射線科 大坂 智

ご存知ですか?

全職員への公募により、私たちの今年のテーマが決まりました。



ボランティア募集

当院では、やさしい思いやりの心を持ったボランティアを募集しております。無理はせずご自身ができることを楽しみにしながらご援助いただきたいと思います。

- 活動内容**
- 病院周りの花壇のお世話
 - 図書貸出しのお手伝い
 - ご自身の特技を活かした活動 (例えば、季節のコンサート・書道・写真・お花・盆栽など)
 - 患者様向けイベント等の開催

お問い合わせ 人事課まで
電話.06-6531-1815(代)
Fax.06-6536-6390

“ふれあい箱”から

平成16年8月～12月

大野記念病院では、患者様やご家族の皆様のご意見をうかがう「ふれあい箱」を設けています。その内容は、これからの病院づくりの参考になるご要望や、毎日の仕事に対する励まし、ご叱責など、実にさまざま。その回答の一部を毎号掲載し、皆様とのより良いコミュニケーションを築いてまいりたいと考えています。

ご助言の趣旨

栄養相談室ができて本当に喜んでいる。以前の相談コーナーでは、外から聞かれているような環境の中で、症状が悪化しているのではという不安に加え、他人に知られるのではないかなど精神的に追いつめられるような気持ちだった。これで安心して相談できる。病院の配慮に感謝申し上げる。という趣旨のお言葉をいただきました。

回答

以前から検討しておりましたが、やっと念願のスペースを確保できました。この間、ご心労をおかけしましたことをお詫び申し上げますとともに、これを挽回すべく、皆様のご期待に答えて参りたいと存じます。

ご助言の趣旨

入院中は、手術室の皆さんから美しいカードに励ましのことはいただき、お医者様からは手術後の経過は良好と聞いて安心の日々でした。皆々様のたたかい気持ちあふれる病院に感謝いたします。ありがとうございました。

回答

無事手術を終えられたこと、先ずはお喜び申し上げます。また、手術を受けられる人のみが体験する、人には言い尽くせない複雑な心境を克服されたことに関し、敬意を表します。手術室のスタッフは、多くの手術を体験する中で、ご本人、ご家族の心につれることの大切さを学びとっているようです。今回、感謝していただいて、逆に励まされたのは当方であります。ふれあう心の大切さを噛み締めながら、より質の高い医療にまい進いたします。

ご助言の趣旨

血液検査の結果が遅い。3時間以上待った。忘れていたのではないかな。待つ者の身になった診察を行って欲しい。あまり混雑している日ではないのかかわらず、診察後も次に呼ばれるまで相当待った。全体に職員の機敏さが見られない。連絡をスムーズにして欲しい。という

回答

誠に申し訳ございません。先ずもってお詫びを申し上げます。

このような失態を露呈する原因を検証しますと、

- ① 当日説明をする場合の検査依頼の至急表示を怠ったとき。(指示忘れも含む)
- ② 検査依頼を受けた側が、至急表示を見落としたとき。
- ③ 検査の依頼する側と受ける側のいずれかに伝達作業のミスがあったとき。

などが考えられます。ご指摘のように、人の立場に立った医療の原点を見失っていること及びその意識のもとでの機敏な職員の行動の欠如が大きな原因と考えます。ご指摘の内容は極めて重要な問題と意識していますので、業務改善委員会の中で討議させて改善に努めます。

ご助言の趣旨

診察時間が長いのではないかな。他の病院ではもっとテキパキとしている。会計も1人だけではダメだ。という趣旨のご指摘をいただきました。

回答

私どもは、心のふれあいと、安全で質の高い医療を皆様にご提供することを理念としております。診療時科によって、また病状によって診察時間は異なりますが、それ以前に、私どもの目標とする心のふれあいという精神に欠けていたのではなかったか、と悔やまれてなりません。今一度、原点に立ち返った指導教育に努めます。会計も1人ではダメだというご指摘がありました。調査しましたところ、交替で昼食をとらせているため、午後1時30分～2時の間1人になっておりました。当方の勝手な都合で安易な配置運用でありました。ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、昼食時も2名配置に是正いたしました。

ご協力ありがとうございました。

編集後記

庭上一寒梅 笑侵風雪開
不爭又不力 自占百花魁

冬至の寒さが身にしみる頃この詩を思い出した。漢詩「寒梅」は生涯を教育と伝道に捧げた新島襄の作である。庭の木々に混じって一株の寒梅の木がある。その梅の花は冬の厳しい風や、或いは霜や雪に笑って耐え忍んだ後、はじめてこのような美しい花を咲かせるのである。別に他のものと争うわけでもなく、そうかといって力

むわけでもない。それでいてこの花は自然に他の花々の魁をするのである。自然体でいながらも目標を貫徹する強固な意志、純粋性に感動すると共に、自らの姿勢を省み、身の引き締まる思いである。

医療業界を取巻く環境も日増しに厳しくなってきた。風雪に耐え忍んだ後はじめて美しい花を咲かせる寒梅に倣い、感謝と謙虚な気持ちで患者様、地域の皆様、地域医療機関との医療を通じた心のかけ橋となり、凛とした花が咲きますよう職員一同心新たに邁進いたします。(ふれあい交流センター 砂川)

大野記念病院 理念

私たちは、心のふれあいと
安全で質の高い専門医療を通して、
人々に最良の癒しを提供します。

基本方針

- 患者様の人間性を尊重し、心のふれあいと徹底したトータルケアで人々の健康への願いに応えます。
- 専門特化を指向し、地域の医療に誠実に貢献します。
- 安全で質の高い医療を極めるため、日夜、技術の向上をめざします。
- 医療における自己実現のため、心豊かな人格形成をめざし学び続けます。
- 科学的な病院経営で、病院医療の発展性を追求します。

患者様のために

私たち大野記念病院の考える医療とは、患者様と医療従事者が互いに信頼しあい、協力しあって築き上げていくものであり、患者様も主体的に医療に参加していただくことで、より一層質の高い医療が実現するものと考えています。このような考えに基づき、私たちは「患者様の権利」を明らかにし、皆様のご希望と意思を最大限尊重した医療を行ってまいります。

権利章典 患者様のために

1. 患者様は、人間としての尊厳を有しながら医療を受ける権利があります。
2. 患者様は、最善の医療を受ける権利があります。
3. 患者様は、ご自分の病気、検査や治療方法などについて、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 患者様は、十分な説明と情報（インフォームド・コンセント）を受けたいと、治療方針などを自分の意思で選択する権利があります。
5. 患者様は、プライバシーの保護を受ける権利があります。
6. 患者様は、自分の診療記録について知る権利があります。

ふれあい交流センター

"SMILE" OHNO

「スマイル おおの」の発行や「ふれあい健康講座・教室」の実施など、地域の皆様や医療関係者との交流を積極的に行うために設置されました。



お気軽にお立ち寄りください!

地域連携室

患者様受け入れの窓口。

直通電話 06-6531-0819

地域の診療機関から依頼を受けて、院内の各診療科へ連絡。スムーズな診療を実現します。

医療福祉相談室

医療・福祉に関するいろいろなご相談をお受けします。

MSW(メディカル・ソーシャルワーカー)が医療・福祉に関するあらゆるご相談をお受けいたします。お気軽にご相談ください。

■ 受付時間／午前9時～午後5時 ● 土曜日後、日・祝日及び年末年始の休診日を除く

診療科目

- 内科 ● 総合内科 ● 腎・高血圧内科
- 消化器内科(胃・腸・肝) ● 糖尿病クリニック
- リウマチ・膠原病クリニック
- 睡眠時無呼吸症候群クリニック
- 外科 ● 整形外科 ● 泌尿器科 ● 脳神経外科
- リハビリテーション科 ● 麻酔科 ● 放射線科
- 腎臓病センター ● 救急センター

受付時間

[月・水・金] 午前9時～11時30分 午後1時～4時
[火・木・土] 午前9時～11時30分 午後 休診

● 日曜・祝日は休診日です。

救急センター 24時間体制で診察しております。



医療法人 寿楽会

大野記念病院

〒550-0015 大阪市西区南堀江1丁目26-10
Tel.06-6531-1815(代) Fax.06-6536-6390
<http://www.ohno.or.jp>



HOSPICO OHNOネットワーク

医療法人寿楽会 大野クリニック

〒542-0076 大阪市中央区難波4丁目2-1
難波御堂筋ビルディング10F
Tel.06-6645-7780 Fax.06-6645-7787

医療法人寿楽会 m・oクリニック

〒550-0015 大阪市西区南堀江1丁目18-21 m・oビル
Tel.06-6533-6760 Fax.06-6533-3395

医療法人寿楽会 寿楽会クリニック

〒543-0052 大阪市天王寺区大道4丁目1-11
Tel.06-6779-1226 Fax.06-6774-2702

介護老人保健施設

医療法人寿楽会 箕面グリーンビラ

〒562-0022 箕面市栗生間谷東1丁目33-25
Tel.0727-27-3475 Fax.0727-27-3476